

練馬区無電柱化推進計画(素案)に
寄せられた意見と区の考え方について

1 意見の受付状況

(1) 意見募集期間

平成 29 年 12 月 11 日（月）から平成 30 年 1 月 12 日（金）

(2) 周知方法

- ① ねりま区報（平成 29 年 12 月 11 日号へ掲載）
- ② 区ホームページへの掲載
- ③ 計画課で配布、区民事務所、図書館、区民情報ひろばでの閲覧

(3) 意見件数

14 件（12 名）

2 寄せられた意見の内訳

項目	
練馬区無電柱化推進計画（素案）全般に関して	1 件
1 計画の目的と位置付け等に関して	—
2 計画策定の視点に関して	—
3 区内の無電柱化の現状に関して	—
4 無電柱化の手法および整備目標に関して	10 件
5 無電柱化推進に向けた施策等に関して	1 件
6 計画の推進に関して	1 件
その他事項について	1 件
合 計	14 件

3 意見に対する対応状況について

区分	対 応 区 分	件数
◎	意見の趣旨を踏まえ、計画に反映するもの	2件
○	素案に趣旨を記載しているもの	7件
□	素案に記載はないが、他の施策等で既に実施しているもの	1件
△	事業実施等の際に検討するもの	1件
※	趣旨を反映できないもの	2件
—	その他、上記以外のもの	1件
合 計		14件

4 区民意見反映制度による意見と区の考え方

No.	意見の概要	区の考え方	対応区分
練馬区無電柱化推進計画（素案）全般に関して			
1	区の将来を展望しての計画としているが、無電柱化計画をストップし、未来を担う子どもたちの教育や保育といった福祉施策を優先すべきである。	道路上の電柱と電線は、震災が起きた際には倒壊し避難や救急活動の大きな障害になることが、過去の事例からも明らかであり、無電柱化は必要不可欠です。事業化にあたっては、国費や都費といった財源の確保に努めて区の負担分を最小限にします。	※
4 無電柱化の手法および整備目標に関して			
2	狭い歩道や歩道上から車道を横切る際の切り下げ部分のバリアフリー対策を無電柱化と併せて行ってほしい。	練馬区では練馬区福祉のまちづくり推進条例（平成22年10月施行）にもとづき、道路等のバリアフリー化を進めています。 無電柱化にあたってはベビーカーや車いす利用者を含む全ての人々が移動しやすい歩行空間の創出を目指して取り組んでいきます。	□

No.	意見の概要	区の考え方	対応区分
3	新しい道路をつくる場合はすべて無電柱化して欲しい。	区内道路の骨格となる都市計画道路・生活幹線道路を新設・拡幅する場合には、あわせて無電柱化します。 また、開発事業により新たにつくられる道路の無電柱化についても今後検討することとしています。	○
4	人通り・通行量の多い場所や景観が優れているとされている場所を優先的に無電柱化して欲しい。	優先して無電柱化する道路の選定にあたっては、防災の視点から緊急輸送道路等、安全の視点から歩行者の利用の多い道路等、景観の視点から景観まちづくり地区等といった内容を踏まえて、選定しています。	○
5	景観保全の観点から早く無電柱化を進めて欲しい。	都市防災機能の強化・安全で快適な歩行空間の確保・良好な都市景観の創出といった視点を踏まえて優先して無電柱化する道路を選定し、区道の無電柱化を総合的・計画的に推進します。	○
6	電柱が死角となる事故や災害時のことを考えると、大きな通りよりも住宅街の無電柱化を優先して欲しい。	平成 28 年 5 月に策定した無電柱化基本方針に基づき、電線のない道路のネットワークを形成することで、都市防災機能の強化を図るために、都市計画道路および生活幹線道路といった幹線道路から無電柱化を推進することとしています。	※
7	無電柱化はスクールゾーンなどを優先して欲しい。 練馬区は全体的に道が狭く、その割には車の通行量が多く、通学時間帯がとても危険です。	平成 28 年 5 月に策定した無電柱化基本方針に基づき、都市計画道路および生活幹線道路といった幹線道路、駅周辺の道路を対象に無電柱化を推進します。 また、優先して無電柱化する道路については、小・中学校周辺の道路も選定要素の一つとして選定を行っています。	○

No.	意見の概要	区の考え方	対応区分
8	早宮、平和台、春日町の電柱の地中化や幹線道路沿いの無電柱化を行ってほしい。	平成28年5月に策定した無電柱化基本方針に基づき、都市計画道路および生活幹線道路といった幹線道路や駅周辺の道路を対象に無電柱化を推進していきます。 今後、早宮・平和台・春日町をはじめとする区内の幹線道路の無電柱化に順次取り組んでいきます。	○
9	安全・快適で良好な景観の歩行空間の確保という点で、無電柱化推進計画には賛成である。	今後、防災・安全・景観の視点を踏まえて総合的・計画的に区道の無電柱化を推進します。	○
10	具体的な試算額が明示されていない。20ページの優先的に無電柱化する道路についての費用の見通しを明示して欲しい。	無電柱化への理解を深めるために無電柱化に関するデータを参考資料として追加します。事業費についても国の統計に基づいたデータを「参考資料 4.無電柱化の財政負担」へ掲載します。	◎
11	効率の面からも新規整備の都市計画道路と拡幅予定の生活幹線道路が無電柱化の優先的な整備路線に取り上げられているのは妥当です。速やかに進めていただきたい。	今後、無電柱化推進計画を踏まえて総合的・計画的に区道の無電柱化を推進します。	○
5 無電柱化推進に向けた施策等に関して			
12	無電柱化には賛成ですが、地上機器をアートにしたり、ストリートファニチャーと組み合わせてユニバーサルデザインを実現する等街並み全体を美しくする策と合わせた計画が必要です。 単なる地中化ではなく、総合的なまちづくりの第一歩として無電柱化を進めていただきたい。	ご意見を踏まえ、「第5章(3)今後検討が必要な事項」へ地上機器の美装化についての記載を追加します。	◎

No.	意見の概要	区の考え方	対応区分
6 計画の推進に関して			
13	石神井公園通りの無電柱化は区民の知恵を出し合い、歩行者が公園に至る期待感を持たせるような空間として整備してほしい。	<p>まちづくりに取り組んでいるエリア内の道路については、それぞれの地区毎のまちづくりの進捗に併せて、無電柱化する路線を選定していく予定です。</p> <p>石神井公園駅周辺については、頂いたご意見を踏まえ、無電柱化を含めた道路整備の内容を、地元商店会や地域の方々が参加するまちづくり懇談会などを活用し、ご意見を伺いながら検討していきます。</p>	△
その他事項について			
14	落雷があっても電線の真下なら安全と聞いているので、無電柱化するならば、雷対策も考えて欲しい。	<p>道路上の電柱と電線は、震災が起きた際には倒壊し避難や救急活動の大きな障害になることが、過去の事例からも明らかであり、無電柱化は必要不可欠です。</p> <p>現在、無電柱化と同時に雷対策を行うことは困難な状況ですが、避雷針の義務付けがない20m以下の住宅を含めて落雷被害対策について別途検討が必要と認識しています。</p>	—